

実 技 試 験

平成26年1月

3級ファイナンシャル・プランニング技能検定 実技試験
資産設計提案業務 (FP協会)

☆☆☆解答に当たっての注意事項☆☆☆

- ・ 試験問題については、特に指示のない限り、平成25年10月1日現在施行の法令等に基づいて、解答してください（復興特別法人税・復興特別所得税・個人住民税の均等割加算も考慮するものとします）。なお、東日本大震災の被災者等に係る国税・地方税関係の臨時特例等の各種特例については考慮しないものとします。
- ・ 次の各問について答えを1つ選び、その番号を解答用紙にマークしてください。

【第1問】下記の（問1）、（問2）について解答しなさい。

問1

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「FP」という）の行為に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 投資助言・代理業の登録をしていないFPが、顧客と投資顧問契約を締結し、当該契約に基づいて特定の上場会社の業績予想や投資判断について助言をした。
2. 税理士資格を有していないFPが、顧客の納付すべき相続税の具体的な税額計算を無償で行い、税務書類を作成した。
3. 生命保険募集人の登録をしていないFPが、顧客から相談を受け、生命保険証券の見方について説明をした。

問2

下記は、細川家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表の空欄（ア）、（イ）にあてはまる数値の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用し、計算結果は万円未満を四捨五入することとする。

<細川家のキャッシュフロー表>

（単位：万円）

| 経過年数 | | | 現在 | 1年 | 2年 | 3年 |
|---------|---------|-----|------|------|------------|------------|
| 西暦（年） | | | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 |
| 平成（年） | | | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 家族・年齢 | 細川 雄一 | 本人 | 51歳 | 52歳 | 53歳 | 54歳 |
| | 美子 | 妻 | 49歳 | 50歳 | 51歳 | 52歳 |
| | 太一 | 長男 | 17歳 | 18歳 | 19歳 | 20歳 |
| | 梨花 | 長女 | 16歳 | 17歳 | 18歳 | 19歳 |
| ライフイベント | | 変動率 | 海外旅行 | | 太一 大学入学 | 梨花 大学入学 |
| 収入 | 給与収入（夫） | — | 628 | 628 | 628 | 628 |
| | 給与収入（妻） | — | 90 | 90 | 90 | 90 |
| | 収入合計 | — | 718 | 718 | 718 | 718 |
| 支出 | 基本生活費 | 1% | 306 | 309 | | |
| | 住宅関連費 | — | 134 | 134 | 134 | 134 |
| | 教育費 | — | 110 | | 200 | |
| | 保険料 | — | 52 | 52 | | |
| | 一時的支出 | — | 120 | | | |
| | その他支出 | — | 10 | | | |
| | 支出合計 | — | | | | |
| 年間収支 | | — | | 93 | | (ア) |
| 金融資産残高 | | 1% | 483 | (イ) | | |

※年齢は各年12月31日現在のものとし、平成25年を基準年とする。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部空欄にしてある。

1. (ア) ▲23 (イ) 576
2. (ア) ▲23 (イ) 581
3. (ア) 23 (イ) 576

【第2問】下記の（問3）～（問5）について解答しなさい。

問3

下記は、経済用語についてまとめた表である。下表に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

| 経済用語 | 主な内容 |
|------|---|
| (ア) | 企業経営者を対象に自社の現況や先行きの見通しについて行うアンケート調査であり、日本銀行が公表している。 |
| (イ) | 生産や雇用など、さまざまな経済活動での重要かつ景気に敏感な指標の動きを統合することによって、景気の現状把握および将来予測に資するために作成された統合的な景気指標であり、内閣府が公表している。 |
| (ウ) | 一定期間に国内で生産された財やサービスなどの付加価値の総額であり、内閣府が公表している。 |

1. 空欄（ア）に入る用語は、「景気ウォッチャー調査」である。
2. 空欄（イ）に入る用語は、「景気動向指数」である。
3. 空欄（ウ）に入る用語は、「国内総生産（GDP）」である。

問4

下記<資料>に基づく株式の評価尺度に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

<資料>

| | |
|------------|--------|
| 株価 | 2,400円 |
| 1株当たり年間配当金 | 60円 |
| 1株当たり利益 | 180円 |
| 1株当たり純資産 | 800円 |

- ・ 株価収益率（PER）は（ア）である。一般に、同業他社などと比較して、PERが高いと株価が割高、PERが低いと株価が割安と判断される。
- ・ 株価純資産倍率（PBR）は（イ）である。一般に、同業他社などと比較して、PBRが高いと株価が割高、PBRが低いと株価が割安と判断される。
- ・ 配当利回りは（ウ）である。投資金額に対する年間配当金の割合を表している。

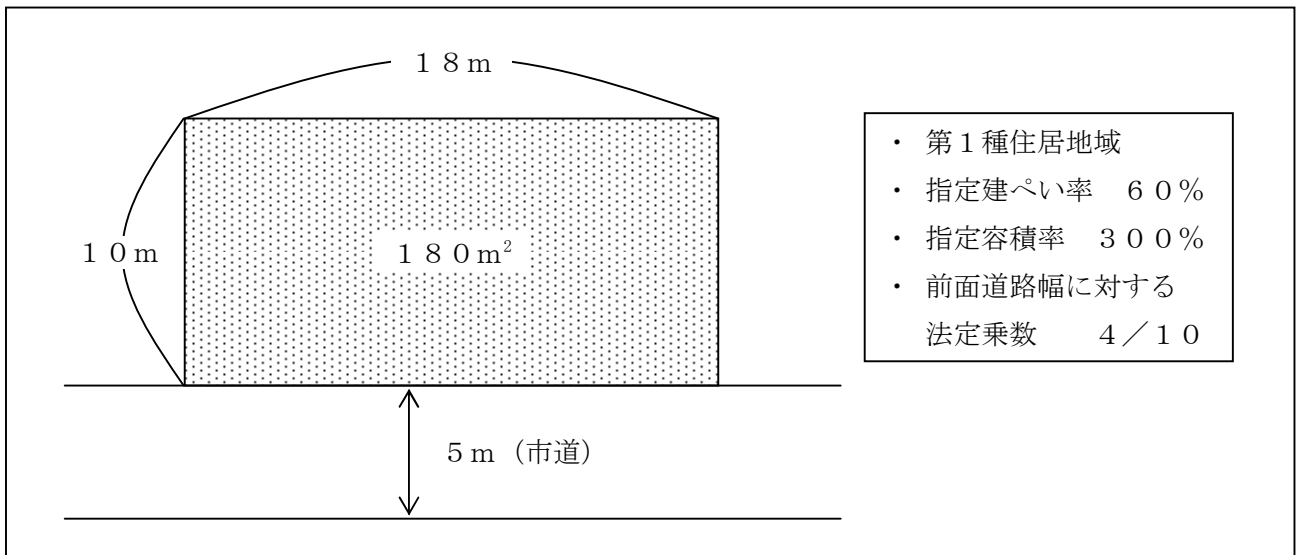
1. 空欄（ア）に入る語句は、「40倍（ $= 2,400円 \div 60円$ ）」である。
2. 空欄（イ）に入る語句は、「3倍（ $= 2,400円 \div 800円$ ）」である。
3. 空欄（ウ）に入る語句は、「33.3%（ $\div 60円 \div 180円 \times 100$ ）」である。

【第3問】下記の（問6）、（問7）について解答しなさい。

問6

建築基準法に従い、下記<資料>の土地に建築物を建築する場合の延べ面積（床面積の合計）の最高限度として、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

<資料>

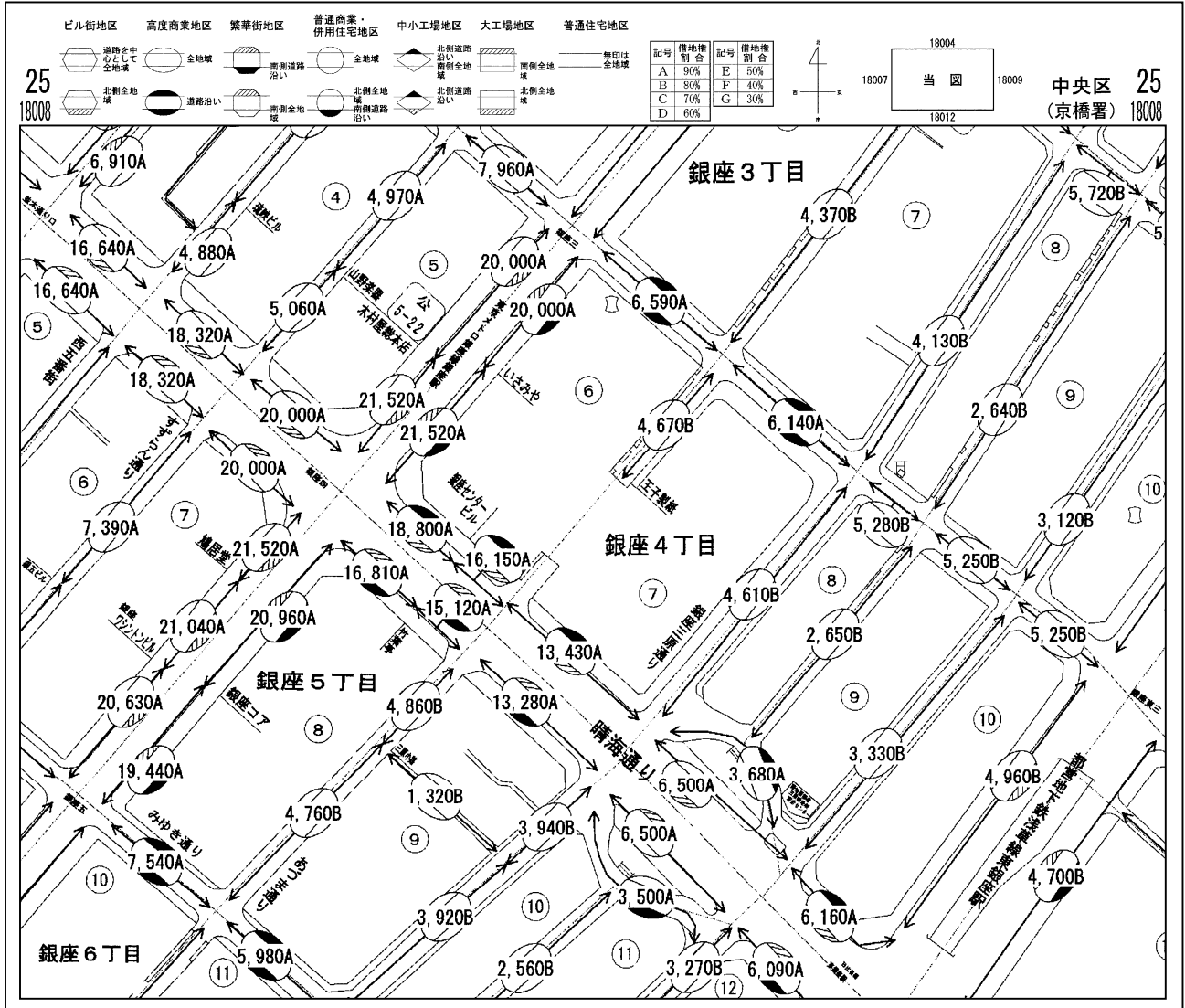


1. 108 m²
2. 360 m²
3. 540 m²

問 7

下記<資料>の路線価図に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

<資料>



1. 路線価は、毎年1月1日を評価時点としている。
2. 路線価として記載されている数字は、1m²当たりの価格を1万円単位で表示している。
3. 路線価の右隣に記載されているアルファベットは、借地権割合を示す記号である。

【第4問】下記の（問8）～（問10）について解答しなさい。

問8

佐野友春さんが加入している生命保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、友春さんはこれまでに＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

| | | | |
|--|---|--|-----------------------------|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 保険証券記号番号 ○○△△××□□ </div> | 定期保険特約付終身保険 | | |
| 保険契約者 佐野 友春 様 | 保険契約者印 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 佐野 </div> | | ◇契約日（保険期間の始期） 2012年8月20日 |
| 被保険者 佐野 友春 様（男性） 契約年齢 28歳 | ◇主契約の保険期間 終身 | | ◇主契約の保険料払込期間 60歳払込満了 |
| 受取人 （死亡保険金） 佐野 優子 様（妻） | 受取割合 10割 | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------|-------|------------|---------|------------------|-------|----------|-------|-----------------------|-----------|-----------------------|-----------|---|--|---------|-------------------|-----------|--|---------------------------|--|---|----|-----------|---------------------|--|------------|--|----------|--|-----------------|--|-----|--|
| <p>◆ご契約内容</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">終身保険金額（主契約保険金額）</td> <td style="text-align: right;">700万円</td> </tr> <tr> <td>定期保険特約保険金額</td> <td style="text-align: right;">1,000万円</td> </tr> <tr> <td>特定疾病保障定期保険特約保険金額</td> <td style="text-align: right;">200万円</td> </tr> <tr> <td>傷害特約保険金額</td> <td style="text-align: right;">100万円</td> </tr> <tr> <td>災害入院特約〔本人・妻型〕 入院5日目から</td> <td style="text-align: right;">日額 5,000円</td> </tr> <tr> <td>疾病入院特約〔本人・妻型〕 入院5日目から</td> <td style="text-align: right;">日額 5,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">不慮の事故や疾病により所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）手術給付金を支払います。</td> </tr> <tr> <td>成人病入院特約</td> <td style="text-align: right;">入院5日目から 日額 5,000円</td> </tr> <tr> <td>リビングニーズ特約</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">※妻の場合は、本人の給付金の6割の日額となります。</td> </tr> </table> | 終身保険金額（主契約保険金額） | 700万円 | 定期保険特約保険金額 | 1,000万円 | 特定疾病保障定期保険特約保険金額 | 200万円 | 傷害特約保険金額 | 100万円 | 災害入院特約〔本人・妻型〕 入院5日目から | 日額 5,000円 | 疾病入院特約〔本人・妻型〕 入院5日目から | 日額 5,000円 | 不慮の事故や疾病により所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）手術給付金を支払います。 | | 成人病入院特約 | 入院5日目から 日額 5,000円 | リビングニーズ特約 | | ※妻の場合は、本人の給付金の6割の日額となります。 | | <p>◆お払込みいただく合計保険料</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">毎回</td> <td style="text-align: right;">××,×××円/月</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">[保険料払込方法（回数）] 団体月払い</td> </tr> <tr> <td colspan="2">◇社員配当金支払方法</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">利息をつけて積立</td> </tr> <tr> <td colspan="2">◇特約の払込期間および保険期間</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">10年</td> </tr> </table> | 毎回 | ××,×××円/月 | [保険料払込方法（回数）] 団体月払い | | ◇社員配当金支払方法 | | 利息をつけて積立 | | ◇特約の払込期間および保険期間 | | 10年 | |
| 終身保険金額（主契約保険金額） | 700万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 定期保険特約保険金額 | 1,000万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特定疾病保障定期保険特約保険金額 | 200万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 傷害特約保険金額 | 100万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 災害入院特約〔本人・妻型〕 入院5日目から | 日額 5,000円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 疾病入院特約〔本人・妻型〕 入院5日目から | 日額 5,000円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不慮の事故や疾病により所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）手術給付金を支払います。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成人病入院特約 | 入院5日目から 日額 5,000円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リビングニーズ特約 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※妻の場合は、本人の給付金の6割の日額となります。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 毎回 | ××,×××円/月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| [保険料払込方法（回数）] 団体月払い | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ◇社員配当金支払方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 利息をつけて積立 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ◇特約の払込期間および保険期間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

佐野友春さんが、平成25年中に交通事故で死亡（即死）した場合に支払われる死亡保険金は、合計（ア）である。

1. 2,000万円
2. 1,700万円
3. 700万円

問9

北村拓郎さんが加入している医療保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、拓郎さんはこれまでに＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

| | | | |
|--|--|---|---|
| 保険種類 終身医療保険 | | 保険証券記号番号 △△△-×××× | |
| 保険契約者 | 北村 拓郎 様 | ご印鑑 | ◆契約日 2011年7月1日 ◆主契約の保険期間 終身 ◆主契約の保険料払込期間 60歳払込満了 |
| 被保険者 | 北村 拓郎 様 契約年齢 32歳 男性 |  | |
| 受取人 | [給付金受取人] 被保険者 様 [死亡保険金受取人] 北村 雅子 様 *保険契約者との続柄：妻 | | |
| ■ ご契約内容 | | | |
| 給付金・保険金の内容 | 給付金額・保険金額 | 保険期間 | |
| 入院給付金 | 日額 10,000円 *病気やケガで1日以上継続入院のとき、入院開始日からその日を含めて1日目から支払います。 *同一事由の1回の入院給付金支払い限度は60日、通算して1,000日となります。 | 終身 | |
| 手術給付金 | 給付金額 入院給付金日額×10・20・40倍 *所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）、手術給付金を支払います。 | | |
| 死亡・高度障害保険金 | 1,000,000円 *死亡または所定の高度障害状態となった場合に支払います。 | | |
| ■ 保険料の内容 | | ■ その他付加されている特約・特則等 | |
| 払込保険料合計 ×,×××円/月 払込方法（回数）：年12回 払込期月 : 毎月 | | 保険料口座振替特約 *以下余白 | |

北村拓郎さんが、平成25年中にガン（悪性新生物）と診断され、その後15日間入院し、給付倍率20倍の手術（1回）を受けた場合、支払われる給付金は、合計（ア）である。

1. 15万円
2. 35万円
3. 135万円

問 10

室井仁さんが契約している普通傷害保険の主な内容は、下記<資料>のとおりである。次の1～3のケース（該当者は室井仁さんである）のうち、保険金の支払い対象とならないケースはどれか。なお、1～3のケースはいずれも保険期間中に発生したものである。また、<資料>に記載のない事項については一切考慮しないこととする。

<資料>

| | |
|-------------|---------|
| 保険種類 | 普通傷害保険 |
| 保険期間 | 1年間 |
| 保険契約者 | 室井 仁 |
| 被保険者 | 室井 仁 |
| 死亡・後遺障害保険金額 | 5,000万円 |
| 入院保険金日額 | 5,000円 |
| 通院保険金日額 | 4,000円 |

※特約は付帯されていない。

1. 休日に行ったサッカーの試合中に相手選手と交錯し、足を骨折して入院した。
2. 海外旅行中に乗車していた列車が事故に遭い、ケガをして通院した。
3. 地震が原因で発生した火災により背中にやけどを負ったため、入院した。

【第5問】下記の（問11）について解答しなさい。

問11

会社員の三上忠雄さんは、平成25年中に下記＜資料＞の医療費等を支払っている。三上さんの平成25年分の所得税の確定申告における医療費控除の対象となる支出額（合計額）として、正しいものはどれか。なお、妻は三上さんと生計を一にしており、保険金等で補てんされた金額はない。

＜資料＞

| 支払年月 | 医療等を受けた人 | 内容 | 支払金額 |
|---------|----------|-------------------|----------|
| 平成25年1月 | 本人 | 人間ドック代（注） | 50,000円 |
| 平成25年2月 | 本人 | 入院費用（注） | 120,000円 |
| 平成25年8月 | 妻 | 健康増進のためのビタミン剤の購入代 | 30,000円 |

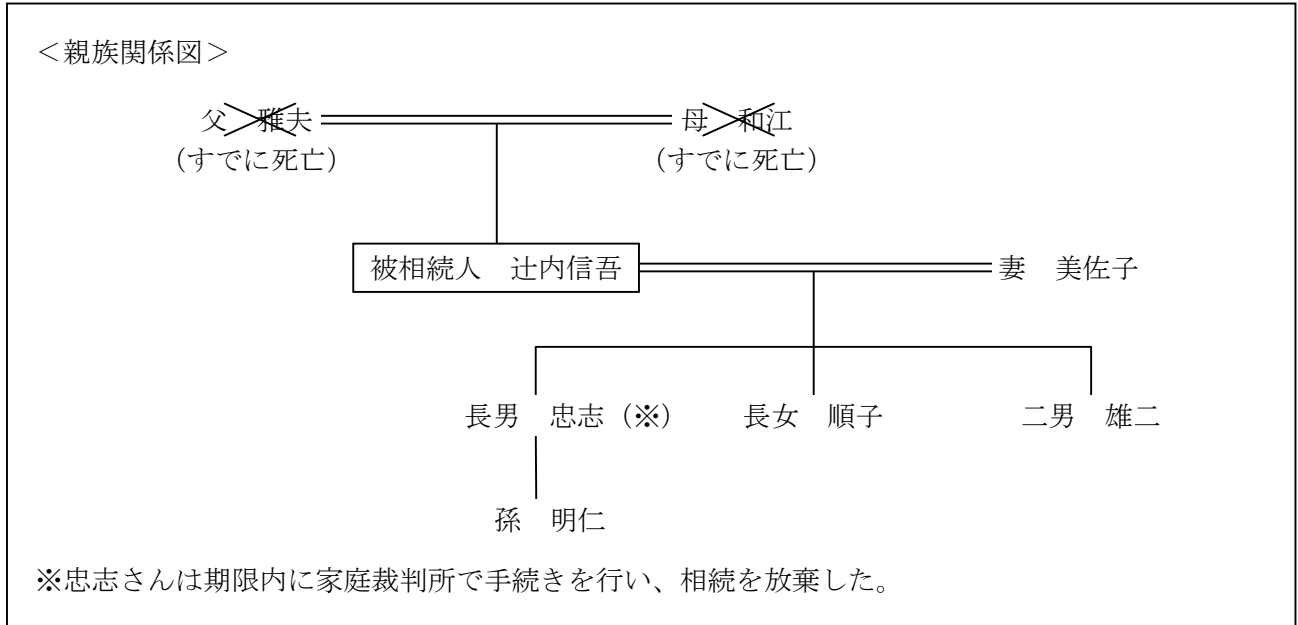
（注）人間ドックの結果、重大な疾病が発見され、引き続き治療のため入院した。

1. 120,000円
2. 170,000円
3. 200,000円

【第6問】下記の（問12）、（問13）について解答しなさい。

問12

平成25年11月15日に相続が開始された辻内信吾さん（被相続人）の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。



1. 相続人は、美佐子さん、順子さん、雄二さんである。
2. 相続人は、美佐子さん、順子さん、雄二さん、明仁さんである。
3. 相続人は、美佐子さん、忠志さん、順子さん、雄二さん、明仁さんである。

問 13

相続税の申告に関する次の記述の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる数値の組み合わせとして、正しいものはどれか。

被相続人の課税価格の合計額が、「5,000万円＋（ア）万円×法定相続人の数」で算出した基礎控除額を超える場合、納付すべき相続税額がある相続人は、相続の開始があったことを知った日の翌日から（イ）ヵ月以内に申告書を提出しなければならない。

なお、被相続人に養子がいる場合、法定相続人の数に算入することができる養子の数は、被相続人に実子がない場合には（ウ）人までである。

1. (ア) 500 (イ) 10 (ウ) 1
2. (ア) 1,000 (イ) 10 (ウ) 2
3. (ア) 1,000 (イ) 3 (ウ) 1

【第7問】下記の（問14）～（問20）について解答しなさい。

<設例>

柳井広樹さんは、株式会社TNに勤める会社員である。平成25年10月に第一子が生まれたこともあり、今後の生活設計についてFPで税理士でもある倉林さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも平成26年1月1日現在のものである。

[家族構成（同居家族）]

| 氏名 | 続柄 | 生年月日 | 年齢 | 職業 |
|-------|----|-------------|-----|--------|
| 柳井 広樹 | 本人 | 昭和57年 7月10日 | 31歳 | 会社員 |
| 美和 | 妻 | 昭和55年 9月14日 | 33歳 | 会社員（※） |
| 希美 | 長女 | 平成25年10月 9日 | 0歳 | |

※美和さんは、現在、育児休業取得中である。

[保有資産（時価）]

（単位：万円）

| | |
|----------------|-----|
| 金融資産 | |
| 普通預金 | 150 |
| 定期預金 | 200 |
| 財形住宅貯蓄 | 250 |
| 外貨預金 | 50 |
| 生命保険（解約返戻金相当額） | 70 |

[負債]

なし

[マイホーム]

広樹さんは、財形住宅貯蓄250万円と定期預金200万円のうち50万円の合計300万円を頭金とし、民間金融機関で2,200万円の住宅ローンを組んで、2,500万円のマンションを購入したいと考えている。

[その他]

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないこととする。

問 1 4

F P の倉林さんは、柳井家の（マンション購入後の）バランスシートを作成した。下表の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、＜設例＞に記載のあるデータに基づいて解答することとし、＜設例＞に記載のないデータについては一切考慮しないこととする。

＜柳井家の（マンション購入後の）バランスシート＞

（単位：万円）

| | | | |
|----------------|-----|----------|-----|
| [資産] | | [負債] | |
| 金融資産 | | 住宅ローン | ××× |
| 普通預金 | ××× | | |
| 定期預金 | ××× | 負債合計 | ××× |
| 財形住宅貯蓄 | ××× | | |
| 外貨預金 | ××× | [純資産] | (ア) |
| 生命保険（解約返戻金相当額） | ××× | | |
| 不動産（マンション） | ××× | | |
| 資産合計 | ××× | 負債・純資産合計 | ××× |

1. 720（万円）
2. 1,020（万円）
3. 2,200（万円）

問 1 5

広樹さんは、マンション購入に備え、財形住宅貯蓄を利用している。財形住宅貯蓄に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 勤労者財産形成促進法上の勤労者で、契約申込み時の年齢が60歳未満であれば、利用することができる。
2. 住宅取得の場合だけでなく、一定の要件を満たせば、住宅の増改築の場合でも払い出しをすることができる。
3. 利用に当たっては、1人1契約とされている。

問 16

広樹さんと美和さんは、今後10年間で積立貯蓄をして、長女の希美さんの教育資金として240万円を準備したいと考えている。積立期間中に年利2%で複利運用できるものとした場合、240万円を準備するために必要な毎年の積立金額として、正しいものはどれか。なお、下記<資料>の3つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、解答に当たっては百円未満を四捨五入することとする。また、税金や記載のない事項については一切考慮しないこととする。

<資料：係数早見表（年利2.0%）>

| | 現価係数 | 減債基金係数 | 資本回収係数 |
|-----|---------|---------|---------|
| 10年 | 0.82035 | 0.09133 | 0.11133 |

※記載されている数値は正しいものとする。

1. 196,900円
2. 219,200円
3. 267,200円

問 17

広樹さんは、平成26年中にマンションを購入して、住宅借入金等特別控除（以下「住宅ローン控除」という）の適用を受けたいと考えており、FPの倉林さんに住宅ローン控除について質問をした。住宅ローン控除に関する倉林さんの次の説明のうち、最も不適切なものはどれか。なお、購入するマンションは、認定長期優良住宅等には該当しないものとする。

1. 「住宅ローン控除の適用を受けるためには、借入金の返済期間が10年以上で、分割返済により返済されるものであることという要件を満たす必要があります。」
2. 「給与所得者の場合、住宅ローン控除の適用を受ける最初の年分は確定申告を行う必要があります。」
3. 「自宅を取得するための借入金であれば、親族や知人からの借入金であっても住宅ローン控除の適用を受けることができます。」

問 18

広樹さんの父親の英昭さんは、平成26年3月末に勤務先を定年退職する予定であり、定年退職時には退職一時金として2,200万円が支給される見込みである。この場合の退職所得の金額（計算式を含む）として、正しいものはどれか。なお、英昭さんの勤続年数は38年とし、障害者になったことに基因する退職ではないものとする。

<参考：退職所得控除額の求め方>

| 勤続年数 | 退職所得控除額 |
|-------|-----------------------|
| 20年以下 | 勤続年数×40万円（最低80万円） |
| 20年超 | 800万円+70万円×（勤続年数-20年） |

1. $2,200万円 - 2,060万円 = 140万円$
2. $(2,200万円 - 2,060万円) \times 1/2 = 70万円$
3. $(2,200万円 - 2,060万円 - 80万円) \times 1/2 = 30万円$

問 19

広樹さんと美和さんは、自分たちが将来受け取る老齢年金について理解を深めておきたいと思い、FPの倉林さんに質問をした。老齢基礎年金に関する倉林さんの次の説明のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 「老齢基礎年金を受給するためには、原則として、国民年金の保険料納付済期間と保険料免除期間とを合わせた期間が25年以上なければなりません。」
2. 「老齢基礎年金を実際に受け取るためには、受給権者は裁定請求手続きをする必要があります。」
3. 「老齢基礎年金を繰り下げて受給する場合の増額率は、繰下げ月数1ヵ月当たり0.5%です。」

問20

広樹さんの年金加入歴は下記のとおりである。仮に、広樹さんが現時点（31歳）で死亡した場合、広樹さんの死亡時点において妻の美和さんに支給される公的年金の遺族給付に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、広樹さんは、入社時（22歳で入社）から死亡時まで厚生年金保険に加入しているものとし、遺族給付における生計維持要件は満たされているものとする。



1. 遺族基礎年金のみが支給される。
2. 遺族厚生年金のみが支給される。
3. 遺族基礎年金と遺族厚生年金が支給される。